

SITAシンポジウムの 来し方、行く末

パネルディスカッション+α

パネリスト

韓 太舜 (シニア代表)

大橋正良 (50代代表)

楫 勇一 (40代代表)

葛岡成晃 (30代代表)

ファシリテーター

植松友彦 (シニアを止められる人?)

コーディネーター

高田豊雄 (人選した人)

ねらい

SITAシンポジウムのより良い未来のために、

SITAの何かを皆の共通のものにしたい

そして、未来のSITAに向けた新たな出会い・

アイデア・エネルギーを生み出し、

種を蒔きたい

想定問答や予定調和は考えていません

アジェンダ：大まかな流れ

オリエンテーション・導入

お題1（パネリスト）

お題2（パネリスト）

意見、コメント、質問（参加者全員）

まとめ（参加者全員）

グラウンドルール

「違う」けど「対等」

年代、大学、肩書きなど「違う」が、SITAに関わる一員として参加者は「対等」

よく聞こう

人の意見を受け入れよう、全否定禁止！

時間を守るう

年長の皆様、「語りすぎ」に注意！

SITAの歴史

1966年 インホメーション理論研究会の廃止

1977年 IEEE Int. Symp. on Information Theory
が米国Ithacaで開催

1978年 第1回情報理論とその応用研究会開催
(この後、毎年温泉地で開催)

1982年 情報理論研究会設立

1986年 情報理論とその応用シンポジウムに改名

1987年 情報理論とその応用学会設立

SITAの歴史

1988年 IEEE Inter. Simp. on Information Theory
が神戸で開催

1990年 ISITA'90がハワイで開催（この後、隔年
で開催）

2011年 電子情報通信学会基礎境界ソサイエティ
情報理論とその応用サブソサイエティ設立（これ
以降、電子情報通信学会の傘下）

2017年 第40回情報理論とその応用シンポジウム
開催

最初のお題

「自分にとってのSITA」

SITAを通じた体験、SITAから得たもの、

SITAの思い出など、自己紹介を兼ねて、

パネリストのSITA経験を5分以内（厳守）で

語って頂きます

ここで全員に質問

SITAがなくなったら、あなたは困りますか、
それとも困りませんか。三択で答えて下さい

- (1) 困る
- (2) 困らない
- (3) わからない

パネリストにお願い

「困らない人」と「わからない人」に
もう一度、SITAの魅力を語ってください

2 番目のお題

「これからのSITAに望むこと」

次の10年、20年でSITAに望むこと、

若手研究者に望むこと、

情報理論に望むことなど、

パネリストのSITAあるいは情報理論の未来像に

ついて5分以内（厳守）で語って頂きます

全員参加タイム

ここにいる皆さん自身の

- ・ SITAの（パネリストとは異なる）イメージ
- ・ SITAへの要望（してほしいこと）
- ・ SITAへの提案（したいこと）

がありましたら、自由にご発言ください
ただし、時間制限があります。

収穫とまとめ

— 参加者全員への質問 —

- パネルディスカッションの後で、SITAのイメージはどう変わりましたか
- 来年のSITAで自分は何がしたいですか、何ができますか

パネリストに最後の質問

- パネルディスカッションの後で、SITAのイメージはどう変わりましたか
- 来年のSITAで自分は何がしたいですか、何ができますか

参加ありがとうございました

引き続きSITAセッションを

お楽しみ下さい